

2021年2月10日
一般社団法人 日本広告業協会

ニュースリリース
「OOH 新共通指標策定プロジェクト」発足について

一般社団法人日本広告業協会（JAAA）は、OOH 媒体の価値向上を目的に「OOH 新共通指標策定プロジェクト」を発足いたしました。

新型コロナウイルスによる外出自粛要請や在宅勤務で、公共交通機関や繁華街の利用者が減少したことに伴い、OOH 媒体を取り巻く環境も変化しました。これを機に、これまで議論されてきた OOH 媒体の諸課題も含めて、新しい生活様式に即した媒体価値の向上を目指す必要があると考え、協会内にプロジェクトを立ち上げることいたしました。

新たに発足するプロジェクトでは、交通広告、屋外広告、空港広告、タクシー・バス広告等、各メディアのアナログとデジタル双方を含む OOH 媒体を範囲として、広告主の皆様がメディアを横断して統合プランニングを行う際に、メディアの可能性や選択を幅広く提供できるよう、その根幹となる標準的な新指標を策定し、OOH 媒体がより信頼され活用していただける環境を整備、啓蒙していくことを目的としております。

広告価値指標（=Viewable）をベースとした国際標準に準拠した統一指標の策定をゴールとしますが、まずは、広告出稿時の実接触者数（アクチュアル）の媒体視認指標の整備と、媒体効果を十分に説明するためのデータ整備に取り組んでまいります。

今後、日本アドバタイザーズ協会様をはじめ、OOH 関連の企業や団体の皆様とも連携をしながら、OOH 媒体の価値向上のために推進してまいります。
ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

[この件に関するお問い合わせ先]

日本広告業協会 担当：角田
03-5568-0876
tsunoda@jaaa.ne.jp